

明るく元気の出る町

平成6年11月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1994 11
NO.476



10月7日・107日の日にちなんで行われたバイパス開放日
子供たちが思い思いの絵を描き開通を心に刻んだ

宿から山内 一直線

国道107号 奥ヶ沢バイパス開通

沿道住民は 祝意の拍手

バイパスの開通を祝いテープカット（左から阿部幸悦町長、柳田弘本荘市長、阿部八男県出納長、村岡兼造衆議院議員、榎岡貞龍県議会議員）



町の大動脈である国道107号の奥ヶ沢バイパスの開通式が十月十三日、関係者約二百五十人が出席して行われました。

国道107号は、岩手県大船渡市を起点とし、北上市、秋田県横手市、本町を経て本荘市に至る路線で、特に本県にとっては、日本海沿岸と県南内陸部を結ぶ重要な路線となっています。

また、同線は、平成九年度北上・秋田間の開通が予定されている東北横断自動車道秋田線に接続し、日本海側と太平洋側を連結する東北地方の重要な幹線道路でもあり、この改良整備は沿線各市町村発展の大きなカギを握るものとされています。

昭和六十二年に秋田県が事業主体となり着工した奥ヶ沢工区（宿・本荘市山内間）は、七つの橋と二本のトンネルを含む延長六、一一〇メートル（本町分四、八六五メートル）の路線で、総事業費が八十九億六千六百万円。平成二年八月に宿・舟木間（二、〇二〇メートル）が、四年十二月に舟木・畑村間（一、九〇〇メートル）が開通、十月十三日には畑村・本荘市山内間（一、二〇〇メートル）が開通し、工区の完成をみたものです。

二つのトンネルの名前は、町内の方から公募してそれぞれ「銀河トンネル」「童画のトンネル」とユニークな名前になりました。

「童画のトンネル」とユニークな名前になりました。両トンネル間の壁面には、町功労者で絵本作家の高橋宏幸先生作「チロヌップのきつね」などのレリーフが飾られています。



50台がパレード

本荘市山内で行われた式典では、阿部八男県出納長、柳田弘本荘市長、阿部幸悦町長らがテープカット。その後、東由利中学校吹奏楽部の演奏に合わせて、健康増進センターまで約五十台がパレードを行い、沿線の住民から祝福の大きな拍手が寄せられました。

健康増進センターで行われた開通式では、阿部出納長が「国道107号の本荘市・東由利町間は、狭あいのため、交通の難所として不便をきたしていた。この区間の整備は、地元の方はもとより、多くの県民が要望していたこと。

関係各位に心から感謝する」と式辞を述べました。引き続き、壁面を飾っていただいた高橋先生に感謝状が贈呈されました。

その後、国、県会議員らから祝辞をいただき式典が閉じられました。



▲東中吹奏楽部の演奏でパレード開始

バイパス完成、みんなで祝った解放日

十月十三日、待望の奥ヶ沢バイパス

の竣工式が行われました。全長で二、二〇〇メートルのトンネルと二つの橋を含むものです。二つのトンネルの名前は町民の皆さんから応募していただき二四八号の方には「童画のトンネル」七五三号の方には「銀河トンネル」と名付けました。トンネルとトンネルの間には高橋宏幸先生の代表作の一つ「チロヌップのキツネ」から原画をいただきそれをレリーフにしてもらい、大変立派にできあがりしました。道路は、運転者がより楽しく走れる

板戸工区は設計調査中



◀久保板戸間の早期整備を

懸案の板戸工区（久保・板戸間、二、六〇〇メートル）は、航空撮影が終わり、今年度中に予備設計が完了する予定になっています。

同工区は、曲りくねった道路が続く、幅員も狭いため、大型車の通行や冬期間の交通

に支障をきたしており、町では、国、県などの関係機関に「早期の改良整備」の陳情、要望を続けてきました。

県では昨年度、可能と思われる改良路線を調査する概略設計を行い「基本的には現路線を骨格とした改良」との方向で町と協議。今年度は、航空撮影を行い概略設計の計画路線をもとに、縦横断面や構造物などを検討する予備設計を進めています。

この区間の整備が完了すれば、本町の国道一〇七号の改良整備が完成することになり、一日も早い工事着工が望まれるとされています。

機能も大事にして来ております。その意味でもこのバイパスはすばらしい道路にできあがり、こういう柔軟な考え方ができる秋田県土木部の皆さんに心から敬意を表しました。

竣工式に先立つ十月七日には勝手に107号の日という事にし、県のお許しを得て町民解放日にしていただきました。車の通る前に歩いて、ゆっくりトンネルや橋、とりわけ高橋先生の「チロヌップのキツネ」のレリーフを皆さんに見ていただきましたのです。未来の運転者にもなる子供たちにも、喜びを分かち合いたいと思います、二つの保育園の年長組、三つの小学校の全校児童に参加してもらい、新しい舗装道路をキャンバスに、カラーのチョークで絵を描いてもらいました。一畝、五畝の枠一杯に思い思いの作

品ができあがりました。道路が三三枚の絵の陳列場になり、壮観でありました。見事な「童画の道路」になりました。道路を大切にし、ゴミやカンなどを捨てないという道路愛護の精神も育ってくればという思いもあつたのですが、大変楽しい解放日になりました。商工会青年部や婦人部の皆さんにもご協力いただき、保育園や小学校の先生方にも大変ご苦労をおかけ致しました。心から感謝を申し上げます。

このバイパスの竣工で本荘までまた五分近づいたといわれます。我が町の残された107号の難所は板戸工区のみになりましたが、これも来年度、事業化できる見通しであります。

まずは奥ヶ沢バイパスの竣工を心からお喜び申し上げます。

長 記
町 日

悦 幸 部 阿 長 町

町功労者に4氏

平成6年町功労者に、元町収入役の小野丹左衛門氏（大琴）、前教育委員長の小松昌樹氏（八日町）、前東由利農業協同組合長の小笠原謙一氏（土場沢）、（財）日本民謡協会参与で全国藤丸会会主の藤丸貞蔵氏（葎沢出身、秋田市在住）の4氏に決まりました。

4氏は、町表彰条例に基づき9月26日に開かれた表彰者選考委員会で選ばれたもので、表彰式は11月1日、健康増進センターで行われます。



藤丸 貞蔵氏 (71歳)
秋田市手形字西谷地10



小笠原 謙一氏 (68歳)
宿字土場沢25



小松 昌樹氏 (71歳)
館合字八日町34



小野 丹左衛門氏 (76歳)
宿字穴沢21-3

町政の伸長発展に尽力

小野氏は昭和二十年下郷村に奉職し、昭和三十八年からは税務課長として十二年間行政事務の中樞を担い、昭和五十年には収入役に選任され在任は三十二年、通算四十一年余りの間を多難

な地方自治の推進に尽力されました。この間、温厚な中にも仕事に対しては厳しい姿勢を貫き、町民の信頼も厚く、税務課長時代の昭和四十年には、長年の懸案だった村税の完納を実現し、以来今日まで連続完納二十九余の基礎をつくり、町財政の円滑な運営に貢献されました。

教育行政に多大な功績

小松氏は、昭和四十七年に教育委員に選任され、五十年には委員長職務代行に就任、六十二年からは教育委員長職の要職にあって、本町教育の振興に尽力されました。

この間、小学校の統合、町教育研究所の設置など、教育行政全般にわたり多大な功績を残され、平成五年には、地方教育行政功労者として文部大臣から表彰されています。また、郵便局長時代は、電話の自動化推進など、地域社会の安定に貢献されました。

農業の近代化に尽力

小笠原氏は、昭和四十三年東由利農業協同組合理事に就任され、在任すること二十五年余り、五十九年からは三期九年にわたり組合長として堅実な組合運営に尽力されました。

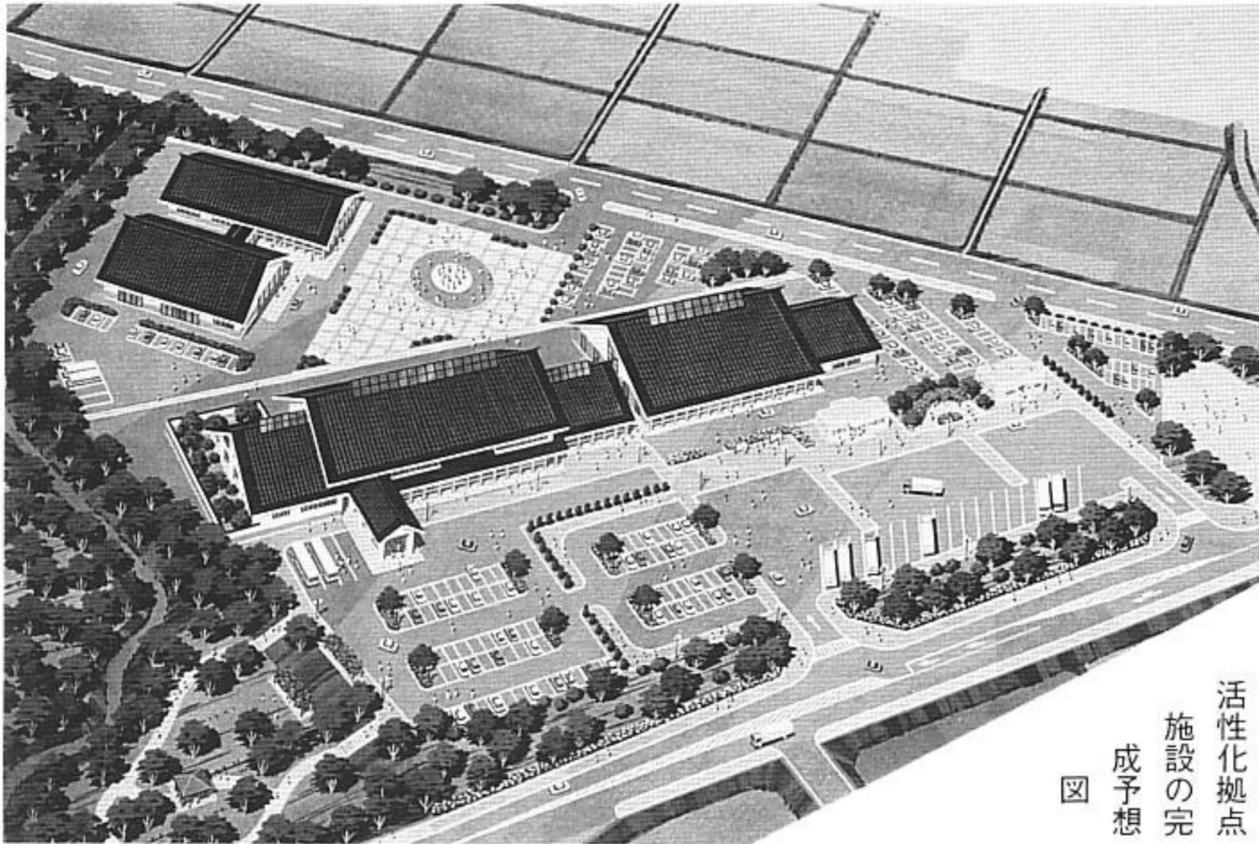
この間、育苗センター施設の整備充実、低温倉庫の建設など農業生産基盤の確立と農業の近代化に多大な功績を残されました。また、由利畜産農業協同組合連合会副会長、県信用農業協同組合連合会理事の要職を歴任され、農業振興に寄与されました。

民謡普及に多大な功績

藤丸氏は、昭和三十九年民謡界に入り、四十一年には秋田民謡団五星会を結成、秋田民謡の普及発展に尽くされ、その後藤丸会会主として全国に門下生を有し、後進の指導に情熱を注がれま

した。この間、日本民謡協会名誉教授、参与などを歴任され、日本民謡の普及発展に多大な貢献をされました。名人芸による全国的な活躍と功績が高く評価され、日本民謡協会技能賞、県内初の県民謡功労賞の栄に浴されています。

温泉保養センター 起工式 産地形成促進施設



工事の安全を祈願

「道の駅」に隣接して計画が進められている町活性化拠点施設のうち、温泉保養センターと産地形成促進施設の起工式が十月三日、関係者約六十人が出席して老方の現地で開かれました。平成四年度から工事が進められている「道の駅」は、駐車場（普通車三十

活性化拠点
施設の完
成予想

二台、大型車十八台とトイレ、休憩所の整備が進められています。

町ではこの周辺四・



▲工事が進む活性化拠点

九畝を町活性化拠点と位置付け、議会、五十人委員会等では施設整備について協議を重ね、全体計画を前期、後期に分けて行うこととしました。前期では、着工した二施設のほか

か地場産業センターの建設が予定されています。また、後期では、郷土の歴史や文化面の人的交流を図る農村文化交流館や地域活性化研究所などの建設が予定されています。

町単独事業で建設される温泉保養センターは鉄筋コンクリート一部二階建て、延べ床面積が二、四一六平方メートル。総事業費が十一億四千八百七十五万円。六十人が入れるサウナ付き浴室二室（男女別）や百十畳の大広間、三十畳の中広間のほか、家族連れなどが利用できる八十二畳の個室五室、カラオケが楽しめる娯楽室二室が設けられています。温泉は、昨年七月掘削に成功した久保地区の源泉からパイプラインで引湯します。無色透明のナトリウム硫酸塩泉で県内トップクラスの泉質を利用し「肌がすべすべし、美人になる



▲鍬入れをする阿部町長

温泉」として、お目見えします。

産地形成促進施設（地場産品開発型の食事提供施設）は、鉄筋コンクリート平屋建て、延べ床面積が五二二平方メートル。総事業費が二億九百八万円。和室洋室の食事室が設けられ、八十人の利用が可能。地場産の食材を利用した食事や各家庭の自慢料理コンテストなどによる食事（メニュー）の提供を行い、広く特産品をPRできる施設として整備されます。

両施設は、建物が棟続きで一体化。内装に木をふんだんに利用した温かみのある建物で、完成は来年九月、オープンは十一月の予定です。

起工式では、阿部幸悦町長らが鍬入れを行い、工事の安全を祈願しました。



イメージキャラクター・新民謡歌詞決定

イメージと一緒 に式典で発表

合併四十年・町制施行二十周年記念事業の「イメージキャラクター」と「東由利新民謡の歌詞」が決定され、十一月一日の記念式典で、既に決定したイメージソングとあわせて発表されることになりました。

東由利音頭

原詞 鈴木 憲一
作詞 新民謡選定委員会
作曲 藤丸 東風

一、ハアー 八塩黄桜 ほどよく咲いて
娘ざかりが 水面に映える
深山わらびは 気もそぞろ
さあさよいとこ 花の里 花の里

二、ハアー 清い流れの 高瀬の川に
若鮎躍る 陽光をうけて
森の木かげは 蝉しぐれ
さあさよいとこ 水の里 水の里

三、ハアー 実る稲穂は 黄金に風いで
餅すがたに ほのかな笑顔
きこの栗の実 幸そえる
さあさよいとこ 米の里 米の里

四、ハアー 雪の舞う夜は 大平明かり
あのこと手を取り 胸ときめかせ
春の足音 聞くばかり
さあさよいとこ 雪の里 雪の里

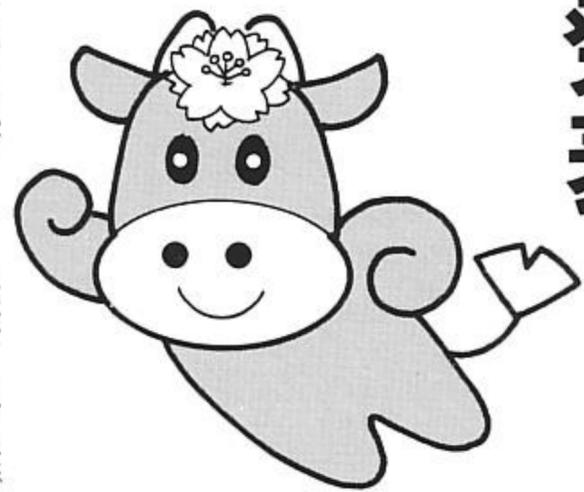
由利牛をベースに

黄桜、イチヨウの組合せ

イメージキャラクターは、町広報等で募集した結果、全国各地から百七十二点の応募がありました。これを受けて町ではイメージキャラクター選定委員会（委員長・阿部幸悦町長、委員十二名）に審査を依頼、同委員会では九月八日に審査の結果、入選作一点、佳作四点を選定しました。

町では選定結果をもとに、頭部の桜の模様を替え、色をピンクから黄色に変更したうえで、イメージキャラクターに決定しました。

入選に選ばれたのは、神奈川県平塚市在住でグラフィックデザイナーの小沢良明さん（四〇歳）。製作に当たり小沢さんは「由利牛の可愛らし



▲未来へ力強く発展する姿を圖案化したイメージキャラクター

さを基本に、頭の黄桜の花びら、しっぽのイチヨウで東由利町をアピール。そして、町の未来へ力強く発展する姿を圖案化した」としていま

佳作四点に選ばれた方は次のとおりです。

- ▽羽山次郎さん（兵庫県）
- ▽中野日出男さん（熊本県）
- ▽町山充弘さん（神奈川県）
- ▽矢島尚子さん（大阪市）

藤丸貞蔵氏が作曲

竹美さんが歌を発表

東由利新民謡は、四月二十八日に町出身で民謡指導者の藤丸貞蔵（芸名・東風）氏が来庁され、「記念すべき年に新民謡を制作したらどうか。ぜひ作曲させてほしい」との申し出がありました。これを受けて町では、新民謡の歌詞を町広報等で応募した結果、

町内外から十三点の応募がありました。選定委員会で審査した結果、入選作なし、佳作作品に本荘市在住の鈴木憲一さんの作品が選ばれました。同委員会では、佳作の作品をもとに、東由利の四季の彩りを、花、水、米、雪で表現した「東由利音頭」を作詞、曲の完成をみたものです。

新民謡の発表会場では本町下通出身の浅野竹美さんが歌うことになっています。



二階建て年金で老後を保証

厚生年金（または共済組合）からは、基礎年金の上に報酬比例の年金が支給される「二階建て年金」のしくみになっています。

国民年金制度は、二十一歳から六十歳までを被保険者とする国民共通の年金制度です。昭和六十一年四月一日から制度が改正され、国民年金からは、すべての国民に共通する「基礎年金」が支給され、

基礎年金には、老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金があります。また、自営業などの人が独自に受けられる給付として、付加年金、寡婦年金、死亡一時金があります。また、国民年金の種別は、

職業等により次の三種類に区分されます。種別により手続きが必要になりますので注意しましょう。

《一号被保険者》
二十歳以上六十歳未満で自営業、自由業、農林漁業の経営者と家族、二十歳以上の学生の方が該当します。加入の手続きを行い、保険料は自分で納めなければならないので、納め忘れのないよう注意しましょう。

《二号被保険者》
サラリーマンや公務員で厚生年金や共済年金に加入している方が該当します。厚生年金などの制度で加入の手続きや保険料の納付が行われますので、個別に手続きする必要はありません。

《三号被保険者》
厚生年金などの加入者に扶養されている配偶者で二十歳以上六十歳未満の方が該当します。保険料の本人負担はありませんが、「第三号被保険者該当届」を役場の年金係に提出する必要があります。

高橋宏幸賞

作品募集

町では第三回高橋宏幸賞・童話（感想文、感想画）県コンクール（作品を募集しています。締切は今年二十五日。

感想文は、県内の小学生が対象で四百字詰め原稿用紙三枚以内。感想画は四歳以上の園児と小学生が対象。四つ切りに限りますが、紙質、画材は自由。ただし、童話の挿絵カットなどの模写は対象外となります。詳しくは町教育委員会（☎69-12310）まで。

『東由利町林業史』完成



完成した東由利町林業史

町が合併四十年、町制施行二十周年を記念して編集作業を進めて来た「東由利町林業史」がこのほど完成しました。

山全体が元気をなくしています。こうした状況を踏まえて町では、「町史の続編にもしたい」との意をこめて林業史を編集することにしたのです。この本は、A5版の大きさ

八三〇ページが山林原野で占められ、これまで林業を基幹産業の一つに位置付けて来ました。しかし、膨大な輸入材の存在、国産材価格の低迷、就業構造の変化による労働力不足等から

で、五五〇頁。合併当時からの本町林業の歴史を六章構成で紹介しています。公有林の歴史を中心にまとめられ、本町が取り組んで来た林業振興策や森林の整備育成事業などが詳しく説明されています。編集を主に担当した畑山昭一、嶽石文男の両氏は「編集に当たり、取材・確認を通して歩く機会に恵まれ、今まで何げなく見過ごしていた杉の美しさに心を打たれることが多かった。今一度森林の大切さを認識し、この本を林業発展に役立ててくれればうれしい」と話しています。

♥愛の献血

ありがとうございました
9月29日 (敬称略)

四〇〇cc	畠山 紀悦	遠藤 克幸	遠藤 力	佐藤 直人
	鈴木 博	太田恵美子	遠藤由美子	工藤 明美
	小松 恵治	畠山 孝	高橋 洋	高橋 義和
	伊東 健市	遠藤 哲也	横山 牧子	小野 一成
	高橋 孝紀	遠藤 卓哉	遠藤 静	小玉 雅之
	横山 昌喜	佐藤 一裕	佐藤 一祝	小野 一
	佐々木寿幸	小松 正二	小笠原美喜	阿部江美子
	鈴木 徳之	畠山 竜紀	佐藤 忍	阿部 等
	小野 弘喜		工藤 良	小松 信記
二〇〇cc			石渡 博澄	小野 里子
	木島 昇子	柏谷むつみ	鈴木富士子	小松五緒子
	佐々木征子	畠山 楸	寅田たづ子	小松千司子
	大庭満壽子	下田登和子	大日向睦子	阿部由起子
	小野真木子	小松 嘉幸	小野 博子	畑山 豊隆
	鈴木 政也	小松由貴雄	石渡ふみ子	遠藤真理子
			佐藤 栄夫	木島 省吾

自然の大切さPR

町林業懇話会

子供のころから森林や水の大切さを知ってほしいと町林業懇話会（佐藤恒悦会長）では、町内の小、中学校に図書を寄贈しました。中学校には「川は生きている」、「森は生きている」、「私たちの森林」の三種類、小学校には、これに「森と木の質問箱」を加えた四種類を贈ったものです。学校では、「たくさんの子供たちに見てもらおうように」とこれらを図書室に備えるとともに、授業の中で教材として利用していくことにしています。



懇話会から寄贈された図書

信号機を清掃

東北電力

秋のふれあいキャンペーンの一環として東北電力東由利



清掃する東北電力職員

サービスセンターでは九月二十八日、町内四か所の信号機清掃を行いました。

東北電力では、春と秋のふれあいキャンペーン期間に独居老人宅の電気設備点検やカープミラーの清掃などを行っており、今回は、秋の交通安全運動期間とも重なり、事故防止の願いを込めて行うことにしたものです。

当日は、三人の職員が電気整備用の自動車に乗り込み、ホウキや布でゴミなどを除去中には、スズメの巣がついている信号機もあり、職員を驚かせていました。

鯉170キロを放流

子吉川水系漁協

子吉川水系漁業協同組合（小松順之助組合長）では十月十七日、大琴小一〜三年生二十一人と協力して高瀬川に鯉百七十尾を放流しました。

毎年この時期に行われている鯉の放流は、「子供たちに川の大切さを知ってもらい、魚に親しんでもらおう」と町内の小学生を対象に行っているもので、今年は宿の桜並木付近で行われました。

当日は、子供たちが持参したバケツで稚魚を川岸まで運び、魚がびっくりしないように気遣いながらいていねいに放流していました。



▲鯉を放流する子供たち

蔵自治会がトップ

町スポーツ祭

今年度創設された「町スポーツ祭」の二競技が十月九日行われ、グラウンド・ゴルフでは蔵自治会が、ラージボール卓球では大琴自治会がそれぞれ優勝しました。

グラウンド・ゴルフは、中学校グラウンドで行われ、八自治会が参加。好天に恵まれたグラウンドでは、熱戦が展開されました。

普通の卓球より一回り大きなボールを使ったラージボール卓球は、健康増進センター



で行われ、卓球の一味違った楽しさを満喫しました。

種目別の二、三位自治会と、スポーツ祭上位自治会は次のとおりです。

《グラウンドゴルフ》▽二位 下小路自治会▽三位 新町自治会 《ラージボール卓球》▽二位 蔵ピンポンクラブ▽三位 下小路

《スポーツ祭上位自治会》

- 一位 蔵自治会 一七三点
- 二位 大琴自治会 一三五点
- 三位 新町自治会 一〇九点
- 四位 下小路自治会 九六点
- 五位 下通自治会 八七点
- 六位 石高自治会 七五点

町連合青年会

軟式野球で全国へ

町連合青年会（遠藤哲也会長）が、第四十三回全国青年大会・軟式野球の部へ秋田県代表として出場することになりました。一回戦の相手は兵庫県代表に決まり、「初戦突破」に向けて練習を行っています。

町連青野球チームは、八月二十七、二十八日の両日、雄和町で行われた県大会で好成績を収め、全国大会への出場権を獲得したものです。

全国大会は、十一月十一日から十四日まで、東京都で行われるもので、軟式野球は、大田区の多摩川緑地野球場で行われます。

一行は十日、秋田市での秋田県結団式に望み、東京へ向け出発します。



▲ナイターでの練習風景

八塩小で稲刈り

学校田も大豊作



▲大喜びで稲刈りをする子供たち

八塩小の学校田の稲刈りが平年より二週間ほど早い九月二十四日に行われ、昨年とは段違いの豊作に子供たちは大喜びでした。

当日は、籾の重さで稲穂がたれ下がった四アールの水田に、五、六年生が集合、父兄の指導のもと、なれない手つきでモチ米を収穫しました。

また、今年も、「自然乾燥のおいしいモチを食べよう」と水田の脇にハサが設けられ、子供たちは四苦八苦しなからハサ架けに挑戦していました。

収穫されたモチ米は、今月十六日の「収穫感謝モチつき大会」であずきモチやきなこモチにして食べることにしています。

本荘で「東由利会」発足

八塩会と高瀬会が合併

本荘市在住の本町出身者で組織する「東由利会」設立総会が十月十六日、五十三人が出席してときわ会館で行われました。

本荘市にはこれまで、旧玉米村出身者の会「八塩会」と旧下郷村出身者の会「高瀬会」の二組織がありました。今年本町が、合併四十年・町制施行二十周年、本荘市が市制施行四十周年の節目の年に当たることから両会から合併の話が持ち上がり、当日の設立総会となったものです。

総会では、設立発起人からこれまでの経過報告があった後、役員選出を行い、会長に中津川俊雄さん（横小路出身）、副会長に遠藤重和さん（新処同）、横山次雄さん（向田同）を選出した後、事務局長に小笠原秀雄さん（蔵新田同）を委嘱しました。

この後、柳田弘本荘市長と阿部幸悦町長があいさつ。この中で阿部町長は「町の発展のためには、東由利を故郷とする人達の応援が必要。一層のご助言、ご指導をお願いします」と述べ、総会が閉じられました。

収穫の喜び味わう

高瀬小でイモ掘り



▲みて、みて！大きなイモでしょ

高瀬小の学校菜園では十月十一日、毎年恒例のサツマイモ掘りが行われ、二・五アールの畑には子供たちの歓声が響き渡りました。

同小の菜園には、サツマイモのほかジャガイモ、カボチャなど六種類の作物が植えられ、子供たちの学習に役立てられています。

最後の収穫となったサツマイモは、昨年と比較して大きいものが多く、量も豊富。子供たちはイモの大きさを比べあったりしながら収穫の喜びを味わっていました。

収穫されたイモは、給食や焼きイモにするほか、東光苑にも寄贈することになっています。

NHKチャンネルが変更

宿地区の一部で16日から

本荘石沢テレビ中継局からの電波でNHK放送を受信している方（主に宿地区）のチャンネルが今月十六日（水）早朝から次のように変更になります。

総合テレビが45チャンネルから21チャンネルに、教育テレビが47チャンネルから19チャンネルにそれぞれ変わり、テレビチャンネルの調整が必要となります。

ご相談お問い合わせは、NHK秋田放送局（☎0188-2418120）まで。

HIGASHIYURI

東由利の話題

TOPICS

町の宝もの

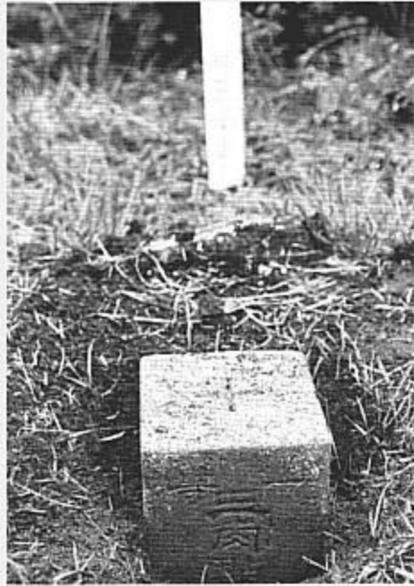
30

一等三角点(三ツ森山頂)

写真は本町と雄物川町との境界三ツ森山(標高四二二メートル)の山頂にある「三森一等三角点」で、大沢手前の広域農道から約一時間の所にあります。

三角点は、明治時代全国の面積や地形等を、三角測量によって測地するための基準となる三角網の頂点です。基準点は写真のように方形の花崗岩製の標識が基盤の中に設置され、一辺が約十六センチ、上面中心に十字の方角が刻まれ、見通しの良い地形のところに設けられています。

一等から四等までの等級がある三角点は、町内に一等はここだけ、二等は八塩山頂の「大八汐」七二三メートルと、黒沢トンネル横渡側入口近くの「下郷」二六二・八メートルの二つです。一等の間隔は、四五メートル前後、二等は約八メートルです。町では地籍調査をしていますが、三角点は大事な役割を持っています。また、茂沢・倉を通過して雄物川町に至る三ツ森山林道(幅員七メートル)はこの三角点の北側山腹を通ります。



広報クイズ 8

次の☆印に必要な数字または文字を入れて応募してください。

- ①平成6年町功労者は☆人
- ②イメージキャラクターは由利牛をベースに☆☆とイチョウの組合せ
- ③町連青が全国大会1回戦で対戦するチームは☆☆県代表

※官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんでも

結構ですので、書いてお出しください。※あて先/東由利町老方 東由利町役場広報係あて

※締切/11月15日(当日消印有効)

※全門正解者の中から抽選で5人の方に素敵な写真盾をプレゼント。

※先月は11人の方から応募がありました。抽選で次の5人の方に写真盾をプレゼントします。▽小松千鶴子さん(下小路)▽佐々木桂子さん(本荘市)▽

石渡佐希子さん(蔵新田)▽畠山洋さん(石高)▽藤浦スサさん(埼玉県)。

応募ありがとうございます。

今「ちっちゃな歯」から

「離乳食」これまでの永慶保育園では縁遠い給食献立のように思っていました。数年前より三歳未満児の入園も少しずつ増え、今年も〇歳児が初めて二名入園して参りました。(今年九月に三歳未満児室が完成)

乳児期から幼児期を過ごす保育園生活。その中で大切な食事がありません。ミルクを飲むことから始まり、やがて『ちっちゃな歯』が顔を出し、食べ物を咬むことを覚えていきます。〇歳児の給食は、保母と一対一で向かい合い一口ごとに「モグ、モグ、モグ、ゴックン」と言葉がけをしながら、早い飲み込みの時はモグが足りなかったかな?と思いつつ、全部食べた満足感に思わずほえんでしまうこともしばしば。

まだまだ小さな子供たちですが、この子供たちが、大人になっても健康な自分の歯でおいしい食事を楽しく味わうことが一つの課題とします。その為には今から、幼い子供たちにも自分の身体の健康について理解できる範囲内で知らせることが必要と思えます。

園では一つの取組みとして歯みがき指導を実施しています。歯に関する絵本や紙芝居を見たり、遊びの要素を盛り込みながら、歯の模型で歯の大切さを教えたりしています。これからも歯みがきの良い習慣が身につく、持続できるようにしたいと思います。

(永慶保育園・鈴木なな子先生)

11月9日は“119番の日”

「119番」は、火災・救急・救助など緊急事態の時に使用する電話で、本町からの119番通報は、本荘市にある消防署の通信指令室につながります。迅速・的確な「119番」への通報は、火災から貴重な生命・財産を守り、被害を軽減させ、「救急現場」、「救急隊」、「病院」と連携される救命リレーのスタートとなるものです。

「119番の日」のある今月、今一度チェックしてみてはいかがでしょうか。

《通報は次の要領で》

▽火事か救急・救助か

▽正式な住所と名前を知らせる(東由利町〇〇字〇〇番地、〇〇宅)その際目標物があれば知らせる

▽火事の場合①何が燃えているか(住宅か工場か山火事かなど)②ビルなどでは、何階の何号室か③今、どんな状況か④ケガ人や逃げ遅れはないか⑤の順に知らせる

▽救急の場合①だれが②どこで③どうしてケガをしたか、どんな状況で発病したか④今、どんな状況か(見たままの状態を簡単に)⑤ケガ人、病人の数は⑥の順に知らせる

▽通報した本人の名前、電話番号を知らせる。

▽火災、救急の問い合わせは消防テレビホンサービス(☎23-1919)まで。

第18回全県野焼きを楽しむ集いin八塩いこいの森

『いい色で感激』、
『ひびが入ってがっかり』

いきいき、クローズアップ

古代の手法で
焼き物に挑戦

第十八回全県野焼きを楽しむ集いが九月二十七日、八塩いこいの森で行われ、県内十一市町村から参加した百二十四人が古代の手法で焼き物に挑戦しました。

この集いは、陶芸愛好者が焼き物の原点に触れ、陶芸技術の向上と愛好者同士の親睦を深めようと開いているものです。今年の本町が会場ということもあり、町陶芸サークル燿幻会（小松幸子会長）が中心になり行われました。



土器をワラで囲う



カヤやヨシで覆い窯のできあがり



野焼きは屋外で土器を焼く縄文期の原始的な手法を再現したもので、事前に製作し、いったん素焼きにした土器を持ち寄って行われます。参加者は、壺や縄文風の土偶、出土した縄文土器を忠実に再現したものなどさまざまな作品を準備していました。

長さ約十センチにわたって地面に浅い穴を掘り、敷き詰められたワラの上に土器を乗せワラで囲ったうえ、木の枝などを乗せて下準備。その上を刈り取ったばかりのカヤやヨシなどで覆い、原始的な「窯」ができあがりました。

点火された後は、参加者たちが草を



点火と同時にモウモウたる白煙を上げた



窯から次々と作品が掘り出された

かぶせるなどして窯の中に均等に火が回るように調節。約二時間燃やした後、自然に冷めるのを待って土器が掘り起こされました。

百二十点余りの作品が掘り起こされると参加者からは「いい色にできた。とても満足」と感激する人、「ひびが入って壊れてしまった」などと落胆する人など一喜一憂する姿があちこちで見られました。

また、この野焼きには大量の生草が必要であり、これだけの規模で催しができる適地は県内でも珍しいと参加者からも好評を得ていました。



わが家の
アイ・トル
☆

下小屋・小野 成人ちゃん
(H3・4・6日生まれ)
和男さんとくに子さんの二男

「晴れた日は、家の周りでサッカー。雨の日はジグソーパズルで遊んでいます。たくましく元気に育ってほしい」とお母さんのくに子さん。

東由利——ニューズダイジェスト 19 あめの日・あめの時

合併当時を振り返る

旧村議員が そのまま新村議員に

合併当時は、旧村の議員二十一人がそのまま新村の議員となり、任期の三十一年七月二十二日まで、この体制で運営が行われました。当時の議会議員は次の写真のとおりです。なお、写真は、任期中最後の議会時に下



前列左から小野(嘉)、小笠原、小松(大)、佐藤副議長、梅津村長、小松議長、大庭、畠山(忠)、小松(松)▽二列佐藤(八)、畠山(耕)、遠藤(吉)、遠藤(藤)、佐藤(謙)、小松(鉄)、小松(真)、佐々木、遠藤(兵)、小野(広)▽三列小松助役、古関、宮塚、小松(一)、阿部、高橋、佐藤(勝)、小野(久)、鈴木▽後列佐藤収入役、佐藤(与)、遠藤(孫)、梅津、長谷山、大沼、渡辺、三浦、小野(勇)、阿部主事の諸氏

郷村役場前で撮影されたもので、当日欠席した田代、佐藤(敏)、小松(常)、横山の四氏は掲載されていません。

東由利の文芸

せせらぎ句会(十月句会)

- 関跡の黒き門柱萩の花
 - 喜雨去りて山路に湧きし秋茜
 - 豊作告ぐ老父が笑顔のきのこ飯
 - おそ厨や夕餉の膳に月生まる
 - 秋灯や背筋のぼして人と逢ふ
 - 稲架間より園児の列や色帽子
 - 今日も又孫より好肴敬老の日
 - 夜晒しの洗濯物や月明り
- 佐藤 正義(湯出野)
 - 小松 忠正(下通)
 - 工藤 武雄(山崎)
 - 遠藤トミ子(小倉)
 - 小松メサ子(下小路)
 - 嶽石 レイ(五海保)
 - 小松慶治郎(高戸屋)
 - 小松順之助(中通)

小学校三年生から大学まで陸上競技一筋の貴子さん。主に百メートル走やリレーのメンバーとして活躍しました。

「今では陸上競技から離れてしまいましたが、スポーツは大好き。休みの日はテニスやマウンテンバイクで遊んでいます」と話すスポーツウーマン。その反面、「喫茶店に行ってコーヒーを飲みながら雑誌を読むのが楽しみの一つ。将来は好きな音楽を流しながら喫茶店を経営してみたい」と静かな一面も。

「学校では一生懸命頑張って、休みの日は思い切り遊ぶ。充実

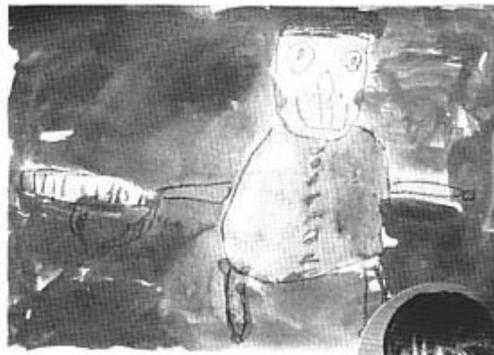
アツシ

鈴木 貴子さん(23歳)
大琴・高瀬小勤務



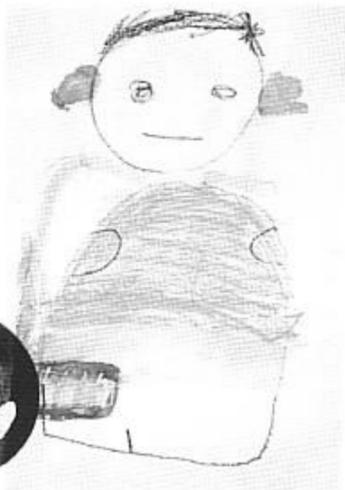
した日々を過ごしています」と笑顔で話す彼女。「子供っぽさが残っている人が理想の男性」と話す明るい貴子さんでした。次は、だれが出るかお楽しみ。

- 新小豆粒より分ける老眼鏡
 - 豊の稲刈りて素直によるこべり
 - 野菊咲き記念の壺に活けて見る
 - 雑木紅葉の山の結界砂防ダム
 - ヘッドライト滲みては消え霧の村
 - 秋暑したつきあらわに人造湖
 - 雲流れ十六夜の月村照らす
 - 晩秋の過ぎし日望む鳥海山
 - 作祭り登る酒樽豊の秋
 - 雲あしの迅さ名月定まらず
 - 農が好きブザー喝采初袋
- 小野石路子(上里)
 - 高橋民治郎(袖山)
 - 阿部 俊子(横渡)
 - 小松 正昭(家ノ下)
 - 高橋ヒデ子(横渡)
 - 小笠原亮子(蔵新田)
 - 小笠原トミ(蔵新田)
 - 阿部 澄子(蔵)
 - 菊地 常作(湯出野)
 - 大庭喜右衛門(舟木)
 - 小野 貞子(蔵新田)



わたなべとしあきくん
(田代)

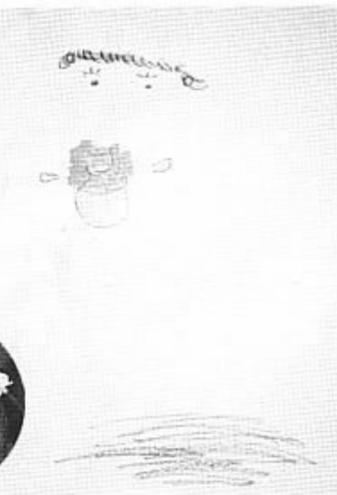
みどり保育園



さとうあきくん
(時雨山)



たのしい
ぼくの絵
わたしの絵
こてき



さとうまいちゃん
(黒瀬)



はたやまあかねちゃん
(館合新田)



アレン先生の英会話教室

国際英会話クラス

Vol. 8 hunting (狩猟)



Eriko : Do they have hunting in minnesota?

(ミネソタの人は狩猟しますか?)

Mark : Yes, they do. It is quite popular.

(はい、かなり人気があります)

Eriko : What do they hunt?

(どんなものを狩るの?)

Mark : Deer, moose, grouse, rabbits, bear, and many other things.

(シカ、ヘラジカ、ライチョウ、ウサギ、熊などいろいろです)

Eriko : They hunt bears? What do they taste like?

(熊を狩るの? 味はどう?)

Mark : Bear taste terrible.

(熊はとてもまずいですよ)

Eriko : Do you hunt?

(あなたは狩猟するの?)

Mark : No, I don't.

(いいえしません)

ハイスクール

日記

修学旅行の思い出



下郷分校2年
工藤 明美さん

十月二日―六日、
広島、奈良、京
都といったコース
で修学旅行に行っ

た。

二日目の広島では、初めに厳
島神社を見て回った。神社から
見る大鳥居はやはりきれいだっ
た。次に平和記念公園。ここで
は、被爆者の方の講話を聞いた
り、資料館を見学したりして平
和の貴さを知ったような気がす
る。また、公園の川向こうにあ
る原爆ドームが当時のまま残っ
ているということはとてもすご
いことだとも思った。

三日目、奈良に行く。特に、

東大寺や大仏殿は写真で見ると
りも、とても大きい建造物なの
で圧倒されてしまった。

四日目はグループ別学習行動。
私たちは嵐山に行った。電車に
乗る駅がわからなくて、道を聞
きながらやっとたどりついた。
とてもきれいな所で、また行っ
てみたいと思った。帰り道、ま
た道がわからなくなって地図を
見ていたら、親切に教えてくだ
さった方がいて助かった。
行きと帰りの一日は電車の移
動に費やされ残念だったが、初
めの場所、いろんな人との出
会いは印象深かった。

11月→データ東由利

(9/1~9/30)

人口 () は前月比

- 男.....2,694人 (△2)
- 女.....2,837人 (△1)
- 計.....5,531人 (△3)
- 世帯数.....1,415戸 (△1)

() は1月からの累計

- 出生... 4人(36)
- 死亡... 4人(45)
- 転入... 6人(73)
- 転出... 9人(117)

- 火災出動..... 0件(1)
- 救急出動..... 7件(81)
- 交通事故..... 0件(5)
 - 死亡..... 0人(0)
 - 傷者..... 0人(8)
- 飲酒運転..... 0人(1)
- 酒気帯び..... 0人(0)

カレンダー 11月の行事

- 1 町功労者表彰式、合併40年・町制施行20周年記念式典 (11:00 健康増進センター)
- 2 2歳児健診(13:00 有鄰館)
- 5~6 町産業文化祭
- 9~10 1人暮らし老人の火災予防防火診断
- 11 就学児健診(13:00 有鄰館)
- 17 ことぶき大学 (10:00 朋楽荘)
- 17 福祉を高める集い (13:30 有鄰館)
- 20 家庭教育セミナー移動研修 (雄勝町)
- 29 機能訓練 (10:00 有鄰館)
- 30 1歳6か月児健診 (13:00 有鄰館)



ドクウツギ
(ドクウツギ科)

文・写真 小松忠正

草といってもいい落葉の低木で、薬草などには含まれています。北海道〜近畿地方の川原や陽当たりのよい山の斜面(写真いこいの森付近)に生え、雌雄同株で、若枝は方形です。花は六月末頃開き、雌花は肉質でガクが五枚内側の花弁五枚、花柱は五本で鮮紅色、雄花は雄しべ十本です。葉は卵状披針形で対生し、三脈がはっきりしています。全株(種子にも)猛毒があり、秋に赤く熟した果実は口にいられてはなりません。いぼとりや、ねずみとりに使うといわれています。

東由利

郷土の野草

No. 117

戸籍の窓口

●お誕生おめでとう

(9/21~10/20届出)

- 佐々木穂乃香ちゃん(直) 美香子 長女・大琴
 - 芹田 清佳ちゃん(亨) 律子 長女・新町
 - 佐々木裕太ちゃん(興) 和子 三男・大琴
 - 遠藤 明莉ちゃん(茂) トモ子 長女・横渡
 - 伊東 茜ちゃん(透) コミ子 二女・館西
- ご結婚おめでとう
- 高橋 勝義さん(宇) 戸坂 羽後町
 - 藤原 敦子さん(羽) 後通
 - 中西 祐生さん(下) 秋田市
 - 保坂 祐子さん(秋) 湯野
 - 加藤 三之さん(湯) 本庄
 - 赤間 美紀さん(本) 庄市
- ごめい福をお祈りいたします
- 八嶋サクエさん(85・徳藏・母) 黒淵
 - 工藤利一郎さん(86・トヨ子夫) 蔵新田
 - 千葉 誠悦さん(66・チエ夫) 蔵新田
 - 阿部ヨシノさん(88・松雄・母) 小倉
 - 遠藤フクエさん(82・正明・母) 小倉
 - 五十嵐泰宗さん(88・宗憲・父) 上通
 - 芦沢マサエさん(89・良蔵・養母) 祝沢



黄色のコスモス

八塩いこいの森に咲く黄色のコスモス。ゆつぱりダムには黄色がお似合い。

(撮影・広報担当)

「ほっとひととき」

夏の暑さが嘘のような肌寒い日が多くなり、朝夕はストーブが恋しい季節になりました。季節の変わり目です。カゼを引かないように注意しましょう。

さて、数人の方に「広報はどこから読むかな」と聞いてみたところ、多いのがこのページ。特に「戸籍の窓口」、「データ東由利」が多く、やはり人口関係にはみんな興味があるのかなと感じました。中には「ほっとひととき」と言う人も。ほんの少しの編集者のつぶやきながら、しっかり読んでいただき、感謝。これからも頑張ります。

町社会福祉協議会に、高橋定雄さん(館合新田)、工藤保春さん(蔵新田)、千葉友幸さん(蔵新田)、島山淳悦さん(袖山)、阿部松雄さん(小倉)、高橋勝義さん(宇戸坂)、大沼武且さん(蔵新田)からご芳志が届けられました。ありがとうございました。

まごころ